

平成 25 年 6 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社 オ プ ト ロ ム
代表者名 代表取締役社長 三浦 一博
(コード番号:7824 名証セントレックス)
問合せ先 取締役管理部長 佐藤 政治
(電話番号 022 - 392 - 3711)

(訂正) 「平成23年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 25 年 5 月 17 日に開示しました「過年度の有価証券報告書、四半期報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」及び平成 25 年 6 月 11 日に開示しました「過年度の有価証券報告書、四半期報告書及び決算短信等の訂正の概要に関するお知らせ」のとおり、平成 21 年 3 月期第 3 四半期から平成 25 年 3 月期第 3 四半期までの決算短信及び四半期決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成23年2月14日に開示いたしました「平成23年3月期第3四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたのでお知らせいたします。また、当該期間の訂正四半期報告書についても、本日提出する予定です。

記

1. 訂正理由

当社は、平成 21 年 3 月期第 3 四半期以降に提出した有価証券報告書、四半期報告書及び決算短信等において訂正を要すると考えられる事項があると前会計監査人より指摘を受け、事実確認の結果、次の事項が判明したため、過去における会計処理等を訂正すべきであると判断いたしました。

これは、平成 21 年 3 月期第 3 四半期及び平成 24 年 3 月期における、当社のデジタルコンテンツ事業に係る固定資産の減損損失を計上しておりますが、当該減損損失額の測定に使用する割引率が実効税率を加味しない税引後の数値となっております。これに関して、「固定資産の減損に係る会計基準」及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第 6 号)」に基づき、使用価値の算定に際しては税引前の割引率を用いる必要があるとの指摘を受けたことにより訂正の必要性を認識いたしました。今回の訂正にあたり、平成 21 年 3 月期第 3 四半期における減損損失の測定全般を見直し再計算した結果、減損損失の金額が訂正前より増加し、平成 24 年 3 月期における減損損失の計上は不要となりました。

2. 訂正箇所

訂正箇所につきましては、 下線を付しております。

【サマリー情報】
(訂正前)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年3月期第3四半期	1,917 △1.5	<u>△110</u> —	<u>△160</u> —	<u>△159</u> —
22年3月期第3四半期	1,946 △17.0	<u>△17</u> —	<u>△76</u> —	<u>△72</u> —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>△7.90</u>	—
22年3月期第3四半期	<u>△3.94</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>2,395</u>	<u>469</u>	<u>19.5</u>	<u>23.11</u>
22年3月期	<u>2,583</u>	<u>627</u>	<u>24.2</u>	<u>30.86</u>

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 468百万円 22年3月期 625百万円

(訂正後)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年3月期第3四半期	1,917 △1.5	<u>△92</u> —	<u>△137</u> —	<u>△138</u> —
22年3月期第3四半期	1,946 △17.0	<u>0</u> —	<u>△51</u> —	<u>△54</u> —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>△6.85</u>	—
22年3月期第3四半期	<u>△2.97</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	<u>2,282</u>	<u>356</u>	<u>15.5</u>	<u>17.49</u>
22年3月期	<u>2,451</u>	<u>492</u>	<u>24.2</u>	<u>24.20</u>

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 354百万円 22年3月期 490百万円

【添付資料】

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(訂正前)

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善等によりプラスの成長率を維持しましたが、一部景気刺激策の終了などによりその効果が薄れ、円高や緩やかなデフレ状態が続いていることなどから、足元の改善は踊り場にさしかかりました。また、国内雇用情勢の悪化や海外経済の下振れ、為替相場の変動の懸念が顕著となったことから、景気の先行き不透明感は払拭されない状況にありました。このような状況の中、当社グループは前連結会計年度に引き続き生産効率化による原価低減や販売価格の是正を始めとする諸施策を実施し、事業収益力の強化に取り組んでまいりました。しかし、E・COOL事業において夏場に発生した製品不具合の対策などに力点をおいた結果として、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,917,957千円（前年同期比1.5%減）、営業損失は110,778千円（前年同期は営業損失17,282千円）、経常損失は160,484千円（前年同期は経常損失76,853千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① デジタルコンテンツ事業

国内の光ディスク業界において、CD市場における音楽CDの2010年4月～12月の生産金額は168,483百万円（前年同期比7.8%減）となりました。（社団法人日本レコード協会統計資料「オーディオレコード生産実績」から抜粋）

また、国内DVD市場（セル・レンタル用）の2010年4月～12月の売上金額は167,702百万円（前年同期比8.9%減）となりました。（社団法人日本映像ソフト協会資料「ビデオソフト月間売上速報」から抜粋）

このような状況にあつて、当社グループのデジタルコンテンツ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,522,870千円（前年同期比12.5%減）となりました。

デジタルコンテンツ事業のうち、CD部門の販売金額は、799,613千円（前年同期比10.7%減）となりました。これは、音楽CDを始め語学・生涯教育向け等の教材関連CD（CD-D A）の売上高618,572千円（前年同期比5.4%減）、コンピューター用ソフトウェアとして使用される複合型CD（CD-ROM）の売上高181,041千円（前年同期比25.1%減）であります。

また、DVD部門においては、TVアニメ共同制作事業やレンタル版權の得られる映画制作への参画などコンテンツ上流から関与する顧客との関係強化に努めると共に、Blu-rayの受注獲得に努めました。その結果、販売金額は669,500千円（前年同期比14.7%減）となりました。

利益面においては、継続実施している販売価格の適正化、製造部門におけるコスト低減策の実施など諸政策を講じてはきましたが、消費低迷により大ロットの受注が減少したことなどの影響により、営業損失は36,585千円（前年同期は営業利益57,378千円）となりました。

② E・COOL事業

CCFL（冷陰極蛍光灯）を用いたE・COOL（CCFL蛍光灯）の当第3四半期連結累計期間の売上高は368,788千円（前年同期比156.1%増）となりました。

E・COOLを本格的に販売開始してから1年を経過して市場に認知されつつありますが、夏場に製品不具合が発生したことにより、その対応策などのために一時的に販売活動が鈍りました。しかし、その後においては、不良代替品の交換もほぼ完了したことから販売活動強化に傾注しております。また、代替品交換が進んだことにより、第2四半期連結会計期間で売上戻し処理を行った94,280千円のうち88,888千円を売上再計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業損失は5,607千円となりました。

(訂正後)

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善等によりプラスの成長率を維持しましたが、一部景気刺激策の終了などによりその効果が薄れ、円高や緩やかなデフレ状態が続いていることなどから、足元の改善は踊り場にさしかかりました。また、国内雇用情勢の悪化や海外経済の下振れ、為替相場の変動の懸念が顕著となったことから、景気の先行き不透明感は払拭されない状況にありました。このような状況の中、当社グループは前連結会計年度に引き続き生産効率化による原価低減や販売価格の是正を始めとする諸施策を実施し、事業収益力の強化に取り組んでまいりました。しかし、E・COOL事業において夏場に発生した製品不具合の対策などに力点をおいた結果として、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,917,957千円（前年同期比1.5%減）、営業損失は92,453千円（前年同期は営業利益769千円）、経常損失は137,427千円（前年同期は経常損失51,758千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① デジタルコンテンツ事業

国内の光ディスク業界において、CD市場における音楽CDの2010年4月～12月の生産金額は168,483百万円（前年同期比7.8%減）となりました。（社団法人日本レコード協会統計資料「オーディオレコード生産実績」から抜粋）

また、国内DVD市場（セル・レンタル用）の2010年4月～12月の売上金額は167,702百万円（前年同期比8.9%減）となりました。（社団法人日本映像ソフト協会資料「ビデオソフト月間売上速報」から抜粋）

このような状況にあつて、当社グループのデジタルコンテンツ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,522,870千円（前年同期比12.5%減）となりました。

デジタルコンテンツ事業のうち、CD部門の販売金額は、799,613千円（前年同期比10.7%減）となりました。これは、音楽CDを始め語学・生涯教育向け等の教材関連CD（CD-DA）の売上高618,572千円（前年同期比5.4%減）、コンピューター用ソフトウェアとして使用される複合型CD（CD-ROM）の売上高181,041千円（前年同期比25.1%減）であります。

また、DVD部門においては、TVアニメ共同制作事業やレンタル著作権の得られる映画制作への参画などコンテンツ上流から関与する顧客との関係強化に努めると共に、Blu-rayの受注獲得に努めました。その結果、販売金額は669,500千円（前年同期比14.7%減）となりました。

利益面においては、継続実施している販売価格の適正化、製造部門におけるコスト低減策の実施など諸政策を講じてはきましたが、消費低迷により大ロットの受注が減少したことなどの影響により、営業損失は18,260千円（前年同期は営業利益75,430千円）となりました。

② E・COOL事業

CCFL（冷陰極蛍光灯）を用いたE・COOL（CCFL蛍光灯）の当第3四半期連結累計期間の売上高は368,788千円（前年同期比156.1%増）となりました。

E・COOLを本格的に販売開始してから1年を経過して市場に認知されつつありますが、夏場に製品不具合が発生したことにより、その対応策などのために一時的に販売活動が鈍りました。しかし、その後においては、不良代替品の交換もほぼ完了したことから販売活動強化に傾注しております。また、代替品交換が進んだことにより、第2四半期連結会計期間で売上戻し処理を行った94,280千円のうち88,888千円を売上再計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業損失は5,607千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(訂正前)

<財政状態の分析>

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は746,349千円(前期末比9.6%減)となりました。

流動資産が減少した主な項目は、現金及び預金53,698千円(前期末比60.6%減)、受取手形及び売掛金397,953千円(前期末比15.7%減)であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は1,649,259千円(前期末比6.2%減)となりました。

固定資産が減少した主な項目は、当第3四半期連結累計期間において減価償却費100,157千円を計上したことによるものであります。

この結果、資産合計は2,395,609千円(前期末比7.3%減)となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は1,527,697千円(前期末比3.4%増)となりました。

流動負債が増加した主な項目は、買掛金161,103千円(前期末比52.1%増)であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は397,940千円(前期末比16.9%減)となりました。

固定負債が減少した主な項目は、長期借入金349,545千円(前期末比24.3%減)であります。

この結果、負債合計は、1,925,638千円(前期末比1.6%減)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は469,970千円(前期末比25.1%減)となりました。

純資産が減少した主な項目は、当第3四半期連結累計期間において四半期純損失159,932千円を計上したことによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は53,698千円(前年同期比37.9%減)となり、前第3四半期連結累計期間末と比較して32,722千円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は33,274千円(前年同期比62.8%減)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純損失155,613千円、減価償却費100,157千円(前年同期比20.3%減)、売上債権の減少52,747千円(前年同期比29.3%減)、仕入債務の増加55,210千円(前年同期は仕入債務の減少31,361千円)、貸倒引当金の増加12,744千円(前年同期比71.4%減)、前渡金の増加27,972千円(前年同期は前渡金の減少3,528千円)、前受金の減少5,679千円(前年同期比35.0%増)であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金5,116千円(前年同期は11,336千円の収入)は、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は110,490千円(前年同期比43.3%減)となりました。

主な要因は、短期借入による収入110,000千円、長期借入による収入20,000千円、短期借入金の返済による支出70,000千円、長期借入金の返済による支出169,686千円であります。

(訂正後)

<財政状態の分析>

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は744,772千円(前期末比9.2%減)となりました。

流動資産が減少した主な項目は、現金及び預金53,698千円(前期末比60.6%減)、受取手形及び売掛金397,953千円(前期末比15.7%減)であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は1,538,046千円(前期末比5.7%減)となりました。

固定資産が減少した主な項目は、当第3四半期連結累計期間において減価償却費83,906千円を計上したことによるものであります。

この結果、資産合計は2,282,818千円(前期末比6.9%減)となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は1,528,612千円(前期末比3.3%増)となりました。

流動負債が増加した主な項目は、買掛金161,103千円(前期末比52.1%増)であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は397,940千円(前期末比17.0%減)となりました。

固定負債が減少した主な項目は、長期借入金349,545千円(前期末比24.3%減)であります。

この結果、負債合計は、1,926,553千円(前期末比1.7%減)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は356,265千円(前期末比27.6%減)となりました。

純資産が減少した主な項目は、当第3四半期連結累計期間において四半期純損失138,740千円を計上したことによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は53,698千円(前年同期比37.9%減)となり、前第3四半期連結累計期間末と比較して32,722千円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は33,274千円(前年同期比62.8%減)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純損失134,420千円、減価償却費83,906千円(前年同期比23.5%減)、売上債権の減少52,747千円(前年同期比29.3%減)、仕入債務の増加55,210千円(前年同期は仕入債務の減少31,361千円)、貸倒引当金の増加12,744千円(前年同期比71.4%減)、前渡金の増加27,972千円(前年同期は前渡金の減少3,528千円)、前受金の減少5,679千円(前年同期比35.0%増)であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金5,116千円(前年同期は11,336千円の収入)は、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は110,490千円(前年同期比43.3%減)となりました。

主な要因は、短期借入による収入110,000千円、長期借入による収入20,000千円、短期借入金の返済による支出70,000千円、長期借入金の返済による支出169,686千円であります。

5. 四半期連結財務諸表

(訂正前)

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計期間末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,698	136,406
受取手形及び売掛金	397,953	471,966
商品及び製品	27,901	13,005
仕掛品	47,012	27,078
原材料及び貯蔵品	74,446	83,634
その他	<u>162,632</u>	<u>108,594</u>
貸倒引当金	<u>△17,296</u>	<u>△14,958</u>
流動資産合計	<u>746,349</u>	<u>825,726</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<u>494,376</u>	<u>514,338</u>
機械装置及び運搬具（純額）	<u>381,820</u>	<u>443,098</u>
土地	<u>673,008</u>	<u>673,008</u>
その他（純額）	<u>14,428</u>	<u>16,893</u>
有形固定資産合計	<u>1,553,633</u>	<u>1,647,337</u>
無形固定資産		
その他	<u>5,589</u>	<u>7,635</u>
無形固定資産合計	<u>5,589</u>	<u>7,635</u>
投資その他の資産		
長期前払費用	<u>19,062</u>	<u>28,801</u>
その他	<u>137,612</u>	130,001
貸倒引当金	<u>△66,638</u>	<u>△56,232</u>
投資その他資産合計	<u>90,036</u>	<u>102,570</u>
固定資産合計	<u>1,649,259</u>	<u>1,757,543</u>
資産合計	<u>2,395,609</u>	<u>2,583,270</u>

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計期間末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,103	105,892
短期借入金	950,234	910,268
1年内返済予定の長期借入金	188,274	227,115
未払金	169,250	159,691
未払法人税等	3,364	6,253
賞与引当金	2,165	4,940
その他	53,307	62,901
流動負債合計	<u>1,527,697</u>	<u>1,477,061</u>
固定負債		
長期借入金	349,545	461,796
繰延税金負債	16,278	14,391
その他	32,117	2,911
固定負債合計	<u>397,940</u>	<u>479,098</u>
負債合計	<u>1,925,638</u>	<u>1,956,160</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,508	984,508
資本剰余金	584,048	584,048
利益剰余金	<u>△1,102,663</u>	<u>△942,731</u>
自己株式	△44	△20
株主資本合計	<u>465,848</u>	<u>625,804</u>
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	2,167	△650
評価・換算差額等合計	<u>2,167</u>	<u>△650</u>
新株予約権	1,955	1,955
純資産合計	<u>469,970</u>	<u>627,109</u>
負債純資産合計	<u>2,395,609</u>	<u>2,583,270</u>

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,946,420	1,917,957
売上原価	<u>1,604,677</u>	<u>1,654,695</u>
売上総利益	<u>341,742</u>	<u>263,262</u>
販売費及び一般管理費	<u>359,025</u>	<u>374,040</u>
営業損失(△)	<u>△17,282</u>	<u>△110,778</u>
営業外収益		
受取利息	17	12
共同制作事業収益金	915	15,193
助成金収入	21,376	4,665
たな卸資産売却益	—	20,615
その他	10,475	5,281
営業外収益合計	<u>32,784</u>	<u>45,767</u>
営業外費用		
支払利息	41,108	39,532
共同制作事業費用	<u>30,754</u>	<u>31,795</u>
貸倒引当金繰入額	—	10,406
その他	20,491	13,740
営業外費用合計	<u>92,354</u>	<u>95,473</u>
経常損失(△)	<u>△76,853</u>	<u>△160,484</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	426	—
賞与引当金繰入額	—	4,940
収用補償金	7,181	—
特別利益合計	<u>7,608</u>	<u>4,940</u>
特別損失		
固定資産除却損	493	68
特別損失合計	<u>493</u>	<u>68</u>
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△69,737</u>	<u>△155,613</u>
法人税、住民税及び事業税	2,433	2,432
法人税調整額	<u>—</u>	<u>1,866</u>
法人税等合計	<u>2,433</u>	<u>4,319</u>
少数株主損益調整前四半期損失(△)	—	<u>△159,932</u>
四半期純損失(△)	<u>△72,171</u>	<u>△159,932</u>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△69,737</u>	<u>△155,613</u>
減価償却費	<u>125,694</u>	<u>100,157</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,686	△2,775
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14,509	12,744
受取利息及び受取配当金	△17	△12
支払利息	41,108	39,532
収用補償金	△7,181	—
有形固定資産除却損	493	68
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,572	△25,643
売上債権の増減額(△は増加)	74,608	52,747
前渡金の増減額(△は増加)	—	△27,972
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,361	55,210
前受金の増減額(△は減少)	—	△5,679
その他	<u>4,526</u>	<u>34,222</u>
小計	<u>132,382</u>	<u>76,987</u>
利息及び配当金の受取額	17	12
利息の支払額	△39,616	△40,482
法人税等の支払額	△3,243	△3,242
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>89,540</u>	<u>33,274</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,445	△5,116
有形固定資産の売却による収入	16,600	—
収用補償金の受取による収入	7,181	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>11,336</u>	<u>△5,116</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	70,000	110,000
短期借入金の返済による支出	△55,000	△70,000
長期借入れによる収入	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△209,217	△169,686
自己株式の取得による支出	—	△23
ファイナンス・リース債務返済による支出	△746	△769
配当金の支払額	△5	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△194,968</u>	<u>△110,490</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>△145</u>	<u>△375</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△94,238</u>	<u>△82,707</u>
現金及び現金同等物の期首残高	180,659	136,406
現金及び現金同等物の四半期残高	<u>86,420</u>	<u>53,698</u>

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	デジタル コンテンツ事業 (千円)	環境 エネルギー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	612,148	138,491	750,640	—	750,640
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	612,148	138,491	750,640	—	750,640
営業利益	<u>27,920</u>	17,836	<u>45,756</u>	(20,046)	<u>25,709</u>

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	デジタル コンテンツ事業 (千円)	環境 エネルギー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,740,536	205,883	1,946,420	—	1,946,420
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,740,536	205,883	1,946,420	—	1,946,420
営業利益又は 営業損失(△)	<u>57,378</u>	△23,660	<u>33,717</u>	(51,000)	<u>△17,282</u>

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
デジタルコンテンツ事業	音楽用CD、教材用CD、映像用DVD
環境エネルギー事業	長寿命節鉛バッテリーの開発・製造・販売 バッテリーの販売

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業種類別に本部を置き、各事業本部は担当する事業について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、「デジタルコンテンツ事業」、「E・COOL事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デジタルコンテンツ事業」は、音楽用CD、教材用CD、映像用DVD等を製造・販売しております。

「E・COOL事業」は、冷陰極蛍光管「E・COOL」の開発・製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	デジタル コンテンツ	E・COOL	計				
I 売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	1,522,870	368,788	1,891,659	26,298	1,917,957	—	1,917,957
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,522,870	368,788	1,891,659	26,298	1,917,957	—	1,917,957
セグメント損失(△)	<u>△36,585</u>	△5,607	<u>△42,193</u>	△4,253	<u>△46,445</u>	△64,332	<u>△110,778</u>

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	デジタル コンテンツ	E・COOL	計				
I 売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	474,517	181,736	656,254	5,324	661,578	—	661,578
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	474,517	181,736	656,254	5,324	661,578	—	661,578
セグメント利益又は 損失(△)	<u>△11,058</u>	25,889	<u>14,830</u>	△1,996	<u>12,834</u>	△20,724	<u>△7,890</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バッテリー事業等が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに配分していない一般経費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(訂正後)

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計期間末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,698	136,406
受取手形及び売掛金	397,953	471,966
商品及び製品	27,901	13,005
仕掛品	47,012	27,078
原材料及び貯蔵品	74,446	83,634
その他	<u>161,055</u>	<u>102,812</u>
貸倒引当金	<u>△17,296</u>	<u>△14,958</u>
流動資産合計	<u>744,772</u>	<u>819,944</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	<u>418,054</u>	<u>436,114</u>
機械装置及び運搬具(純額)	<u>342,508</u>	<u>400,364</u>
土地	<u>673,412</u>	<u>673,412</u>
その他(純額)	<u>11,541</u>	<u>13,478</u>
有形固定資産合計	<u>1,445,517</u>	<u>1,523,370</u>
無形固定資産		
その他	<u>4,342</u>	<u>5,986</u>
無形固定資産合計	<u>4,342</u>	<u>5,986</u>
投資その他の資産		
長期前払費用	<u>19,062</u>	<u>28,273</u>
その他	<u>135,763</u>	130,001
貸倒引当金	<u>△66,638</u>	<u>△56,232</u>
投資その他資産合計	<u>88,187</u>	<u>102,042</u>
固定資産合計	<u>1,538,046</u>	<u>1,631,400</u>
資産合計	<u>2,282,818</u>	<u>2,451,344</u>

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計期間末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,103	105,892
短期借入金	950,234	910,268
1年内返済予定の長期借入金	188,274	227,115
未払金	169,250	159,691
未払法人税等	3,364	6,253
賞与引当金	2,165	4,940
その他	54,221	65,644
流動負債合計	<u>1,528,612</u>	<u>1,479,805</u>
固定負債		
長期借入金	349,545	461,796
繰延税金負債	16,278	14,391
その他	32,117	3,139
固定負債合計	<u>397,940</u>	<u>479,327</u>
負債合計	<u>1,926,553</u>	<u>1,959,132</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,508	984,508
資本剰余金	584,048	584,048
利益剰余金	<u>△1,216,368</u>	<u>△1,077,628</u>
自己株式	△44	△20
株主資本合計	<u>352,143</u>	<u>490,907</u>
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	2,167	△650
評価・換算差額等合計	<u>2,167</u>	<u>△650</u>
新株予約権	1,955	1,955
純資産合計	<u>356,265</u>	<u>192,211</u>
負債純資産合計	<u>2,282,818</u>	<u>2,451,344</u>

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,946,420	1,917,957
売上原価	<u>1,586,925</u>	<u>1,636,649</u>
売上総利益	<u>359,494</u>	<u>281,308</u>
販売費及び一般管理費	<u>358,724</u>	<u>373,761</u>
営業利益又は営業損失(△)	<u>769</u>	<u>△92,453</u>
営業外収益		
受取利息	17	12
共同制作事業収益金	915	15,193
助成金収入	21,376	4,665
たな卸資産売却益	—	20,615
その他	10,475	5,281
営業外収益合計	<u>32,784</u>	<u>45,767</u>
営業外費用		
支払利息	41,108	39,532
共同制作事業費用	<u>23,713</u>	<u>27,063</u>
貸倒引当金繰入額	—	10,406
その他	20,491	13,740
営業外費用合計	<u>85,312</u>	<u>90,741</u>
経常損失(△)	<u>△51,758</u>	<u>△137,427</u>
特別利益		
貸倒引当金戻入額	426	—
賞与引当金繰入額	—	4,940
収用補償金	7,181	—
特別利益合計	<u>7,608</u>	<u>4,940</u>
特別損失		
固定資産除却損	493	68
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	<u>1,864</u>
特別損失合計	<u>493</u>	<u>1,933</u>
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△44,643</u>	<u>△134,420</u>
法人税、住民税及び事業税	2,433	2,432
法人税調整額	<u>7,236</u>	<u>1,866</u>
法人税等合計	<u>9,670</u>	<u>4,319</u>
少数株主損益調整前四半期損失(△)	—	<u>△138,740</u>
四半期純損失(△)	<u>△54,314</u>	<u>△138,740</u>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△44,643</u>	<u>△134,420</u>
減価償却費	<u>109,699</u>	<u>83,906</u>
賞与引当金の増減額(△は減少)	<u>△4,686</u>	<u>△2,775</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>14,509</u>	<u>12,744</u>
受取利息及び受取配当金	<u>△17</u>	<u>△12</u>
支払利息	<u>41,108</u>	<u>39,532</u>
収用補償金	<u>△7,181</u>	<u>—</u>
有形固定資産除却損	<u>493</u>	<u>68</u>
たな卸資産の増減額(△は増加)	<u>△45,572</u>	<u>△25,643</u>
売上債権の増減額(△は増加)	<u>74,608</u>	<u>52,747</u>
前渡金の増減額(△は増加)	<u>—</u>	<u>△27,972</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	<u>△31,361</u>	<u>55,210</u>
前受金の増減額(△は減少)	<u>—</u>	<u>△5,679</u>
その他	<u>4,572</u>	<u>29,281</u>
小計	<u>132,382</u>	<u>76,987</u>
利息及び配当金の受取額	<u>17</u>	<u>12</u>
利息の支払額	<u>△39,616</u>	<u>△40,482</u>
法人税等の支払額	<u>△3,243</u>	<u>△3,242</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>89,540</u>	<u>33,274</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	<u>△12,445</u>	<u>△5,116</u>
有形固定資産の売却による収入	<u>16,600</u>	<u>—</u>
収用補償金の受取による収入	<u>7,181</u>	<u>—</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>11,336</u>	<u>△5,116</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	<u>70,000</u>	<u>110,000</u>
短期借入金の返済による支出	<u>△55,000</u>	<u>△70,000</u>
長期借入れによる収入	<u>—</u>	<u>20,000</u>
長期借入金の返済による支出	<u>△209,217</u>	<u>△169,686</u>
自己株式の取得による支出	<u>—</u>	<u>△23</u>
ファイナンス・リース債務返済による支出	<u>△746</u>	<u>△769</u>
配当金の支払額	<u>△5</u>	<u>△10</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△194,968</u>	<u>△110,490</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>△145</u>	<u>△375</u>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△94,238</u>	<u>△82,707</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>180,659</u>	<u>136,406</u>
現金及び現金同等物の四半期残高	<u>86,420</u>	<u>53,698</u>

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	デジタル コンテンツ事業 (千円)	環境 エネルギー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	612,148	138,491	750,640	—	750,640
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	612,148	138,491	750,640	—	750,640
営業利益	<u>33,937</u>	17,836	<u>51,773</u>	(20,046)	<u>31,727</u>

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	デジタル コンテンツ事業 (千円)	環境 エネルギー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,740,536	205,883	1,946,420	—	1,946,420
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,740,536	205,883	1,946,420	—	1,946,420
営業利益又は 営業損失(△)	<u>75,430</u>	△23,660	<u>51,770</u>	(51,000)	<u>769</u>

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
デジタルコンテンツ事業	音楽用CD、教材用CD、映像用DVD
環境エネルギー事業	長寿命節鉛バッテリーの開発・製造・販売 バッテリーの販売

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業種類別に本部を置き、各事業本部は担当する事業について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、「デジタルコンテンツ事業」、「E・COOL事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デジタルコンテンツ事業」は、音楽用CD、教材用CD、映像用DVD等を製造・販売しております。

「E・COOL事業」は、冷陰極蛍光管「E・COOL」の開発・製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	デジタル コンテンツ	E・COOL	計				
I 売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	1,522,870	368,788	1,891,659	26,298	1,917,957	—	1,917,957
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,522,870	368,788	1,891,659	26,298	1,917,957	—	1,917,957
セグメント損失(△)	<u>△18,260</u>	△5,607	<u>△23,867</u>	△4,253	<u>△28,120</u>	△64,332	<u>△92,453</u>

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	デジタル コンテンツ	E・COOL	計				
I 売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	474,517	181,736	656,254	5,324	661,578	—	661,578
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	474,517	181,736	656,254	5,324	661,578	—	661,578
セグメント利益又は 損失(△)	<u>△4,950</u>	25,889	<u>20,938</u>	△1,996	<u>18,942</u>	△20,724	<u>△1,782</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バッテリー事業等が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに配分していない一般経費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

以 上